

平成12年(2000)10月7日(土) 8:50~17:00 会場:新霞ヶ関ビル

会長:寺本成美 国立病院長崎医療センター名誉院長

開会の挨拶 (9:00~9:10)	国立長崎中央病院 名誉院長	寺本成美
一般演題 (9:10~10:40)		
I	座長 もみの木病院内科	井上和男
I-1	離島僻地病院における救急医療 ー脳外科医の役割ー 長崎県離島医療圏組合 中対馬病院	森山忠良 ほか
I-2	オホーツク地区における救急医療体制 札幌医科大学 救急集中治療部	浅井康文 ほか
I-3	小規模・高機能をめざした離島医療機関(小規模ワンセットの考え方) 西郷町立中村診療所	香川 勇
II	座長 岩手医科大学 高度救命救急センター	谷口 繁
II-1	へき地・離島に勤務する医師のための研修カリキュラム 国立横須賀病院小児科 (自治医科大学救急医学)	今道英秋 ほか
II-2	沖縄の離島救急医療と搬送体制の現況 沖縄県立那覇病院 附属阿嘉診療所	田仲 斉
II-3	岩泉地区における医師確保の現状について 岩手県済生会岩泉病院	北山 修 ほか
III	座長 自治医科大学救急医学	鈴木正之
III-1	へき地診療所熊野市立五郷診療所の現状と問題点 熊野市立五郷診療所	高倉廣喜
III-2	離島における遠隔PTCA導入後の急性心筋梗塞の治療成績の検討 長崎県離島医療圏組合 対馬いづはら病院	貞光隆志 ほか
III-3	南西諸島における医療の現状とコンピュータを用いた往診ネットワーク うへのドイツ文化村 メディカルセンター ドクターゴン診療所	泰川恵吾 ほか
シンポジウム I (10:40~12:10)	「へき地・離島”度”に応じた救急医療」 座長 弘前大学医学部 附属病院救急部	滝口雅博
1	医療面よりみたへき地”度”の定義と分類 弘前大学医学部 附属病院救急部	滝口雅博
2	離島”度”の応用 ~へき地親元病院として~ 国立長崎中央病院 救命救急センター	高山隼人
3	救急医療を視野に入れた診療所づくり 青森県東通村診療所 長崎県離島医療医師の会	川原田 恒
4	離島救急医療の現状と将来	八坂貴宏
休憩 (12:10~13:00)		
総会 (13:00~13:15)		
特別講演 (13:15~14:15)	座長 国立長崎中央病院 名誉院長	寺本成美
	テレメディスン今後の展望 前 医療情報システム 開発センター(MEDIS-DC) 理事長	仲村英一

シンポジウムⅡ (14:15~15:55)	「へき地・離島における医師確保」 座長 川崎医科大学救急医学	小濱啓次
	1 21世紀へき地医療の提言 厚生省健康政策局指導課	土居弘幸
	2 医療確保の問題「中央は医師余りだが、地方は不足」 全国離島振興協議会(美津島町長)	松村良幸
	3 適正な医師の需給 厚生省九州地方医務局	江口弘久
	4 代診プール制の提案 地域医療振興協会	吉新通康
	5 へき地・離島医療のシステム作りに関する研究報告 川崎医科大学救急医学	福田充宏 ほか
一般演題 (15:55~17:05)	IV 座長 札幌医科大学 救急集中治療部(美津島町長)	浅井康文
	IV-1 遠洋漁業中に発生した重症感染症をヘリコプター搬送で救命し得た 武蔵野赤十字病院 救命救急センター	高橋耕平 ほか
	IV-2 長崎県離島におけるヘリコプター搬送患者の予後 長崎県離島医療圏組合 富江病院	藤原紳祐 ほか
	IV-3 高野医療圏の救急活動における防災ヘリによる患者搬送の有用性と問題点 高野町消防本部救急隊	西坂 保ほか
	V 座長 久留米大学救急医学	加来信雄
	V-1 広島県周産期医療システムとヘリコプター搬送 県立広島病院 母子総合医療センター	山崎武美 ほか
	V-2 岩手県におけるヘリコプター救急搬送の普及を目指して 岩手医科大学 高次救急センター	谷口 繁 ほか
	V-3 僻地救急医療にドクターヘリはどのような影響を及ぼしているのか 川崎医科大学救急医学	田辺真一 ほか
	V-4 消防防災ヘリによる山間へき地診療所からの緊急搬送 自治医科大学救急医学	河野正樹 ほか
	開会の挨拶 (17:05~)	